

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月25日

【評価実施概要】

事業所番号	3470700281		
法人名	医療法人 仁寿会		
事業所名	グループホーム もみじ		
所在地 (電話番号)	広島県竹原市西野町榎ヶ坪184番地 (電話) 0846-29-2190		
評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会		
所在地	広島市南区皆実町1-6-29		
訪問調査日	平成21年11月16日	評価確定日	平成21年12月17日

【情報提供票より】(平成21年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 12 年 4 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	21 人	常勤 21 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 21 人	

(2) 建物概要

建物形態	併設) 単独	新築) 改築
建物構造	鉄筋コンクリート造り	
	3 階建ての	1 階 ~ 3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有(無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400 円		

(4) 利用者の概要(11月1日現在)

利用者人数	26 名	男性 6 名	女性 20 名
要介護1	3 名	要介護2	7 名
要介護3	11 名	要介護4	4 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 89.5 歳	最低 78 歳	最高 98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	山下産婦人科内科医院 ・ 大田歯科医院
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は、医療法人に属する3階建ての建物で洋を基調とした、1階から3階部分を活用した3ユニット(定員27名)である。竹原市北部に位置し、湯坂温泉郷の付近で高速のインターや国道2号沿いからも近く交通のアクセスも良い。山間部でもあり、四季が感じられ、静かな環境である。ホームの敷地内には、母体施設の介護老人保健施設や訪問看護ステーションが併設しており、常に連携や協力体制がある。入居理由のひとつに母体が医療機関の事もあり、緊急時や急変時などの対応など即対応体制が整っているのも安心感に繋がっている。支援に当たる職員も、馴染みのあるサービスを提供し、個々の個性を尊重した、誠実で思いやりのある対応に徹している。家庭的な雰囲気、暖かい感じの安心感のある事業所である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価の改善点でもあがっていた、「理念の共有と日々の取り組み」については、その後も改善に向けて取り組まれているが、今後も理念を実現するためには、どうすれば良いのかを常に念頭に置き、運営方針に迷いが生じた時など、理念の振り返りや職員一人ひとりが理念を共有する必要があると思われます。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、各ユニットリーダーが作成している。今後は、自己評価の意義や目的を理解するためにも、職員一人ひとりが自己評価を行い、日常のサービスの質の確保・向上に取り組む事を望みます。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議の内容としては、ホームの現状をさせて頂くことを中心に行っている。様々な機関が集まる中で意見交換を行っている。また、参加者からの意見や要望などの積極的な提案もあり、それらを活かしたサービスの質の向上に努めている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族へは、日常で変化などがある場合は、その都度電話連絡している。3ヶ月に1回広報誌を送付する際に、ケア担当者がホームでの生活状況用紙を送付している。家族が来訪した際には、一人ひとりの"生の声"を聞く努力がされて、積極的に話し合いの場を設けている。個々の意見などを活かし、入居者の支援、または運営の改善に役立てている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域との連携については、ホームが市街から離れており、周辺住民が少ない現状がある。地域的に隣近所との交流が難しい状況があるが、併設施設の介護老人保健施設が開催する夏祭りには、地元住民の皆様の参加や家族などが参加され交流が図られている。運営推進会議を通じたり、保育所などとの交流を行い、社会の構成員として人と人の関わりをもつ努力がされている。今後も出来る限り地域との交流を深め、孤立しないように積極的に取り組んで行く事を望みます。

社団法人広島県シルバーサービス振興会

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホーム独自の理念を念頭に置き、日々の支援を実施している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の支援の中で、常に理念に沿ったサービスを提供されているかを、確認及び理念の共有する必要があると思われます。		今後は、職員一人ひとりが理念を十分に認識し、運営方針などに迷いが生じた場合は、ミーティングなどの機会を通じて、確認を行い日々実践に取り組まれる事を望みます。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームが市街地より離れており、周辺は湯坂温泉郷であり、近隣住民が少ない現状がある。地域的に難しい状況があるが、町内の行事に参加したり、母体施設の夏祭りを開催するなどし、交流に努めるよう努力されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価については、各ユニットリーダーのみが取り組まれている。今後は、職員一人ひとりが自己評価の意義や目的を認識するためにも、積極的に自己評価を活用される事を望みます。		「評価をし、改善点を見つけることはホームの向上に繋がる」という考え方のもと、今後は、職員一人ひとりが自己評価の意義あるいわ目的をもって実施する事を望みます。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	内容としては、ホームの現状報告や意見交換などしている。会議参加者からのご意見・ご要望を頂きながら、ホームの運営に繋げている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	2ヶ月に1回の運営推進会議には、市の福祉保健課や月1回程度の市より介護相談員が来訪され、担当者との随時連携を取り合い、その中で情報交換などを行い、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理については、個別台帳を作成し家族に確認して頂いている。ホームでの生活状況は、3ヶ月に1回担当者が書面にて報告している。必要時は面会時や電話連絡で健康状態などを、その都度報告している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口の設置や、家族訪問時や随時、担当の職員が話し合いをする場面を設け家族の生の声を聞くよう努力されている。それらの意見を基にして、運営に反映されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は、法人全体で定期的に行われている。やむを得ず異動がある場合は、入居者・家族が困らない体制作りを行っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	併設施設の介護老人保健施設との内部研修も適宜取り入れており、ミーティングで、研修内容の報告、回覧を行い情報の共有化をしている。介護福祉士などの資格取得を目指し、ホーム内で勉強会を開催するなどしながら、人材育成への取り組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内で1番目に開設したホームである。併設施設の介護老人保健施設との研修会への参加や他施設への施設見学を行い、情報交換や職員交流を図り、サービスの質の向上に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	見学に来て頂き、併設施設の居宅介護支援事業所との連携を図るなか、出来る限りの情報収集を行っている。個別対応を本人と家族には十分説明し、納得の上利用して頂いている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	一人ひとりの個性を活かし、ホーム独自の理念”やすらぎのある、共同生活”を念頭に置き共に歩み、一緒に過ごすことを大切に生活職員全員が日々実践している。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	本人や家族から話しをよく聞くように取り組んでいる。利用者の生活歴(生育歴)を把握し、個別対応のサービスを提供している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	ケースカンファレンスにおいて、本人の希望・家族の希望を情報を共有するなか、それらを基に介護計画に反映させたプラン作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	6ヶ月に1回介護計画を見直し、本人及び家族の希望を踏まえ計画作成している。また、状態に変化などがみられた時には、随時モニタリングなどを行い、変更・修正などを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	併設施設との連携や協力のもと柔軟に変化させ実施されていた。本人や家族の希望に応じた個別支援がされていた。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	併設施設の協力医療機関との連携や、看護体制が整っているなか、緊急(急変時)への対応と医療体制が整っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホーム独自で、「重度化した場合における対応に関する指針」に準じながら、ホームとして最大限可能な支援を家族と十分に話し合いをもち、職員全員その対応方針を共有し支援している。		
1. その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	カルテなども入居者の名前ではなく、部屋の名前を使用している。個人情報やプライバシーが保てるように、各職員が配慮して、利用者の人権・権利を意識しながら日々の業務に取り組んでいる。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの気分と体調を考慮し、個人の希望に沿いながらの対応を行っている。また、個人の要望などは、柔軟な対応が行えるように随時対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員も同じ時間、同じ食事を共にする事に心掛けている。入居時には、食器類全てを持ち込みをして頂いている。一人ひとりの好みを取り入れたり、個々の能力を活かし、準備や片付けなどされている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの状況を把握するなか、出来るだけ希望に沿うように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居時の生活歴や日々の関わりの中から本人の役割や楽しみごとを見つけ出し、出来るだけ可能な方は行って頂き、役割などを持って頂く事により、本人で出来ることはして頂く様にしている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の意思を尊重したり、時候や利用者の体調に合わせながら、外出支援などを行っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけないケアに取り組んでいる。 職員一人ひとりが鍵をかけない目的を理解されており、日々実践している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	併施設設との連携を密に行い、定期的に防災訓練を実施している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	体重測定や毎日の食事量の把握をするなか、個々の食事形態や栄養摂取量に見合った食事の提供をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者が作成した作品を取り入れ、季節に合わせた植物や飾り付けを行っている。共同空間が家庭的な雰囲気です。居心地良く、一人ひとりが我が家のように生活されているのが伺えた。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	食器類は全て以前使用していた物を持ち込まれている。本人や家族と相談しながら自宅で使っていた馴染みのある物品などを自由に持ち込まれており、新規入居時にも不適合をおこさないように配慮されている。		